

【人間文化研究科】ディプロマ・ポリシーに示された「力」と学位論文審査基準との対応

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	学位論文審査基準からみたDPに示された「力」との対応
人間文化研究科	M	人間性の本質的な理解を追求し、社会の問題を解決して地域、世界の発展に寄与する力	
	D	人間と文化をめぐる多様な価値観の根底にある諸問題を解決する研究能力ならびに研究成果を地域社会や国際社会の発展に応用する力	
キリスト教思想専攻	M	DP1：神学、哲学、宗教学領域におけるキリスト教の人間観に関する 専門知識 と深い 理解力	専門知識 専門性、倫理性 理解力 研究テーマ・研究目的の適切性、研究方法の適切性、論証の適切性
		DP2：ヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語などの古典語や西洋近代語の 専門的知識 と 読解能力	専門知識 専門性、倫理性 読解能力 研究方法の適切性
宗教思想専攻	D	神学、哲学、宗教学に関する 文献の読解力 と 豊かな学識 を持ち、これら3領域の学際的な相互理解に関連する 研究を遂行する力	文献の読解力 研究方法の適切性 豊かな学識 専門性 研究を遂行する力 研究テーマ・研究目的の適切性、論証の適切性、獨創性、倫理性
人類学専攻	M	DP1：文化人類学、考古学、文化資源学に関する 専門的な知識	専門的な知識 研究テーマ・研究目的の適切性、研究方法の適切性、論証の適切性、独自性、形式的適切性、倫理性
		DP2：社会の変化や文化の多様性を 適確に捉え、研究資料の資源化・公共化を図る姿勢・資質 と 社会で活躍できる力	的確に捉え 研究テーマ・研究目的の適切性 研究資料の資源化・公共化を図る姿勢・資質 倫理性 社会で活躍できる力 研究方法の適切性、論証の適切性、独自性、倫理性
	D	DP1：異文明や異文化間の対話を促進し、 相互理解に貢献する能力	相互理解に貢献する能力 課題の目的と有用性、先行研究への配慮、方法論の適切性、斬新性、論文の構成、専門性、倫理性
		DP2：文化や歴史に対する 深い洞察力	深い洞察力 課題の目的と有用性、先行研究への配慮、方法論の適切性、専門性、倫理性
		DP3：フィールドワークや発掘調査による 資料収集能力	資料収集能力 先行研究への配慮、方法論の適切性、専門性
		DP4：収集した膨大な資料を 忍耐強く整理・分析し、博士論文として完成させる能力	忍耐強く整理・分析し、博士論文として完成させる能力 課題の目的と有用性、先行研究への配慮、方法論の適切性、斬新性、論文の構成、専門性、倫理性
教育ファシリテーション専攻	M	DP1：学習者を 理解するための知識と能力	理解するための知識と能力 研究目的の適切性、学識、方法の適切性、形式的適切性
		DP2：学びのための 環境づくりに必要な知識と能力	環境づくりに必要な知識と能力 研究目的の適切性、学識、方法の適切性、独自性、倫理性
		DP3：学習者へ 効果的な介入（働きかけ）を行うための知識と能力	効果的な介入（働きかけ）を行うための知識と能力 研究目的の適切性、学識、方法の適切性、独自性、倫理性
言語科学専攻	M	DP1：データを収集・分析し、仮説を立案し、それを検証するという経験科学の 研究手法を理解し、実践する力	研究手法を理解 研究テーマ・研究目的の適切性、研究方法の適切性、論証の適切性、形式的適切性 実践する力 専門性・学術的貢献、倫理性
		DP2：特定の言語、言語現象、あるいは言語習得について 理論的に分析できる力	理論的に分析できる力 研究方法の適切性、専門性・学術的貢献
		DP3：言語教育についての 体系的かつ高度な知識 を有し、第二言語としての英語や日本語などの 言語教育者として従事できる力	体系的かつ高度な知識 専門性・学術的貢献 言語教育者として従事できる力 倫理性
	D	DP1：言語理論あるいは言語習得論の領域において研究者として自立し、その領域で指導的な役割を担い、 社会に貢献できる研究を遂行する能力	社会に貢献できる研究を遂行する能力 研究テーマ・研究目的の適切性、研究方法の適切性、論証の適切性、専門性、形式的妥当性、学術上の貢献、倫理性
		DP2：言語理論あるいは言語習得論についての 専門的な知識 を有し、先行研究を批判的に評価し 自律的かつ独創的な研究を遂行する能力	専門的な知識 専門性、学術上の貢献 自律的かつ独創的な研究を遂行する能力 研究テーマ・研究目的の適切性、研究方法の適切性、論証の適切性、形式的妥当性、倫理性